

Victory

NO.11

令和5年2月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

今週日曜日、春一番が吹き抜けていきました。
春がそこまで来ているのですね。
先日、紅白の梅のそばに若草色の小さなつがいの
メジロを見つけました。楽しげにさえず囀る様子に心
躍る気持ちになりました。



とはいえ、まだ寒さが抜けないのがこの時季です。
そこで思い出される日本の童謡があります。

春は名をみの風の寒さや 谷のうぐいす歌を思えど
時にあらずと声もたてず 時にあらずと声もたてず

『早春賦』(吉丸一昌作詞 中田章作曲)

現代語訳は、春とは名ばかりの風の寒さに 谷のうぐいすも歌おうと思う
けれど、今はまだその時ではないと声も出さない。
春を待ち焦がれる気持ちが、伝わる美しい歌です。目で見ても耳で聴いても
日本語の言葉の美しさを感じます。興味のある人は、ぜひ聴いてみてください
い。そして口ずさんでも。それにしても、春が待ち遠しい如月2月。

確認です



高3生のみなさん。

本の返却は済んでいますか？



図書館の授業支援



1年保健：現代社会と健康「精神疾患の特徴」「精神疾患の予
防」「精神疾患からの回復」教科書 p36～43

単元の精神疾患に関連する資料支援をしました。
日常生活のなかで私たちは大なり小なり様々な
ストレスを抱えて生きています。今年度から新たに
予防と回復の項目が盛り込まれました。

授業では、その特徴を認識した上で、どのよう
な予防が可能なのかを自分事に置き換えて、資料
等で調べ、自分の考えをまとめていく流れでした。
テーマ設定→的確な情報の読み取り→整理→まとめる
(参考文献は正確に記述する) プロセスがこの授業で
も行われていました。



1年総合的な探究の時間での支援レファレンス

毎週木曜日7限は「きみろんの時間」。

それぞれがテーマを探しに、あるいはテーマの関連情報を探しに来館しま
す。たいていは漠然としたテーマの状態。今年度の1年生はゼミスタイル
なので、担当の先生との面談を通して自分の探究テーマを明らかにしてい
きつつ、図書館に来て情報収集となります。

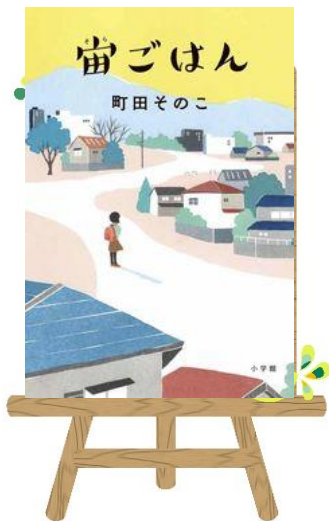
必要とする情報が何なのかを問いかけることで、情報提供側としてはその
関連資料が蔵書にどの程度あるのかを知る機会となり、蔵書コレクション
充実につなげることができます。同時に関連の先行研究テーマの収集をサ
ポートすることで、情報の蓄積にもなるのです。これらは、今後研究をし
ていく後輩たちにもつながっていきます。あわせて、研究者である生徒自
身の情報収集スキルを身につけていくことも大切にしています。また、レ
ファレンスを通して研究者自身にとっても漠然としていたテーマが具体的
に絞り込まれる化学反応が起きたりと、レファレンスは利用者にとっても
図書館にとっても重要なサービスなのです。

図書館は、あなたのわからない、困ったを一緒に解決します！

棚からひとつかみ『今年の本屋大賞は？』

先月、ノミネート作品全10作が発表されました。本校図書館でもコーナー展示中です。全作読んで、あなたの大賞作を選んでみませんか？

本屋大賞発表は、4月12日です。



『^{そら}宙ごはん』町田そのこ著 (小学館) 913.6 マ
あなたにとって、大切な料理は何ですか？
一口食べた瞬間にあなたを丸ごと包んでくれるそんな魔法のようなレシピ。
6歳で初めて母と暮らすことになった宙。自らを母親失格だという花野との関係に悩む宙をそばで見守り、支え、元気づけてくれたのは母の中学の後輩佐伯と、佐伯が作る料理だった。宙を取り巻く人たちは、みな心に重い鉛を抱えて生きている。本人にも為す術のない鉛を、佐伯は料理という手段で溶かしていく。どんな人をも受け入れる思いが隠し味となって。そして、宙自身いつしか佐伯仕込みの料理で誰かの心を包むようになる。誰もが元気になる、優しさにあふれた物語だ。

2023年ノミネート作決定！ 本屋大賞



Supported by **NOLTY** 手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

高校三年生のみなさんへ

いよいよこの学び舎を旅立つときが近づいてきましたね。

10代のこの三年間は、人生のすべてがギュッと詰まった何にも代えがたいかけがえのない時間なのだと思います。

嬉しい、楽しい、悔しい、悲しい、怒り、喜び…そんなすべての感情がぎゅっり織り込まれた時間は、少しずつ、でも確実にあなたの思い出となっていくのでしょう。

ずっとずっと時間を経たいつか、この思い出の扉を開くときのあなたが笑顔でありますように。

これまで、本校図書館を使ってくれてありがとうございました。

みなさんとともに過ごせたことを幸せに思います。どうぞお元気で！



本屋大賞

ノミネート作品発表

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。<投票対象は2021年12月1日～2022年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)>

本屋大賞HP <https://www.hontai.or.jp>

『川のほとりに立つ者は』	寺地はるな/双葉社
『君のクイズ』	小川哲/朝日新聞出版
『宙ごはん』	町田そのこ/小学館
『月の立つ林で』	青山美智子/ポプラ社
『汝、星のごとく』	凧良ゆう/講談社
『方舟』	夕木春央/講談社
『#真相をお話しします』	結城真一郎/新潮社
『爆弾』	呉勝浩/講談社
『光のところにいてね』	一穂ミチ/文藝春秋
『ラフカは静かに弓を持つ』	安壇美緒/集英社

書籍名五十音順

Supported by **NOLTY** 手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。